



1 避難所(札内南小学校体育館)へ避難した公区住民 2 公区長と公区代表者で避難所運営委員会を設置 3 住民へ連絡事項を伝達する公区役員 4 食料・物資を配給する公区役員 5 応急処置の体験コーナー 6 備蓄品や洪水浸水予想図の展示コーナー

防災訓練を体験して



本訓練実行委員長
あかしや南2公区長
工藤 伸さん

7公区から多くの方が参加したにも関わらず、とても順調に訓練が進み、皆さんの防災に対する意識の高さを感じました。防災訓練は「自助」「共助」「公助」を体験できる貴重な機会。地域の防災訓練に参加したことがない方はぜひ参加し、非常時の行動を学びましょう。



みずほ公区長
大西 隆之さん

みずほ公区では年1回、防災訓練を行っています。今回は町が主催だったため、よりリアルな訓練ができました。避難所では、今はこういう状況だというアナウンスが随時あり、災害時にもこのような連携ができれば避難者も安心できると思います。



家族で防災訓練に参加した
丸山 美由紀さん

今回初めて大きな避難訓練に参加してみて、避難所での生活は想像よりも大変だとわかり、家の備蓄品を見直すきっかけになりました。災害時は子どもを安全に避難させなければならないため、避難ルートを確認でき、参加してよかったです。

特集 災害に備える

自分の命と大切な人を守るため

防災の基本は自助

防災は、自分の身を守る「自助」が基本。まずは災害についての知識を深め、自分や身の回りの安全を確保しましょう。災害が発生したら、自分の身を守ることを最優先してください。

どの災害にも共通して言えることは素早く情報を得ることが重要だということ。テレビ、ラジオ、インターネット、町が配信する防災情報メール(登録制)などで災害・気象情報をチェックできる環境を整えましょう。

お互いを助けあう地域に

いざ大規模な災害が起こったとき、公的機関が被災

地に駆けつけるまでには時間がかかります。そのような状況下で素早く災害に対応し、助け合うためには地域や近所の「共助」の力が必要となります。

一人ひとりが、日頃から災害に備えるためには何をしておけばよいか、災害時はどう行動すればよいか、「地域の安全は地域で守る」という意識を持つことが重要です。

災害に強いまちづくりへ

10月18日、町が主催する、1回目となる「幕別町地域自主防災訓練」を実施しました。この訓練は、地域の連携と防災体制の強化を目的に、平成27年度から平成31年度までの5年間で、市街地を中心

とした指定避難所ごとの対象公区で行う防災訓練です。

今年度は、札内南小学校を指定避難所とする文京町、みずほ町、あかしや南1、あかしや南2、泉町、泉東、昭和の7公区を対象に、合同避難訓練を実施し、266人が参加しました。

震度7の大地震が発生したという想定のもと、各公区の住民が一時避難場所へ緊急避難し、その後、指定避難所である札内南小学校へ避難。「自助」「共助」「公助」の3つの視点で非常時の行動について確認しました。

この地域自主防災訓練をきっかけに、自分の身を守りながら地域も守ることで、災害に強いまちづくりを進めていきたいと思います。

災害時の協定について

8月19日、町は災害時の応急対策と災害復旧のための砂利・砂などの提供について、北海道砂利工業組合十勝支所と協定を締結しました。

この協定は、災害時、被災した道路、河川、建物などの応急対策及び災害復旧に非常に有効であり、災害応急対策の強化が期待されます。

今後も地域事業者との連携を推進し、防災力強化に努めていきます。



災害時における応援業務に関する協定締結を結んだ飯田町長(左)と、北海道砂利工業組合十勝支所長伊藤光一氏(右)

「防災のしおり」を活用しよう

昨年12月に全戸配布した「防災のしおり」は公区別の緊急避難場所、避難所や各種ハザードマップなど、防災の備えが1冊にまとめられています。

町ホームページ>トップページ>防災情報>防災のしおりから見る
ことができます。



防災情報メールに登録しよう!

「気象情報」や「避難情報」など、町から最新の防災情報をお知らせする登録制メールサービスです。ぜひご登録ください。



備えて安心、防災グッズ

いざという時のために備えておく非常食や飲料水、救急医療品などの防災グッズは、災害発生時にすぐに持ち出すべき必要最低限の「非常持出品」と、自宅や職場などに備えておく「備蓄品」に分類することができます。

※詳しくは「防災のしおり」P14~15をご覧ください。

防災グッズ(例)	
非常持出品	備蓄品
①飲料水(1.5ℓ程度) ②非常食 ③懐中電灯 ④ラジオ ⑤現金 ⑥応急衣料品 ⑦常備薬・持病薬 ⑧ヘルメット ⑨靴 ⑩マスク ⑪タオル ⑫ナイフ ⑬ホイッスル ⑭携帯電話 ⑮雨具 ⑯使い捨てカイロ ⑰軍手など	①衣類 ②保存食・飲料水 ③簡易な食器 ④ウェットティッシュ ⑤ラップ・アルミホイル ⑥洗面道具 ⑦ランタン ⑧新聞紙 ⑨ポリタンク ⑩下着 ⑪布ガムテープ ⑫毛布など

非常持出品の一例。家族構成などに合わせて必要なものを無理なく持ち出せる範囲で調整して準備し、リュックサックなどにまとめておきましょう。

